

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月5日

上場会社名 日本水産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1332 URL https://www.nissui.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 的埜 明世
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画IR部長 (氏名) 広井 洋一郎 (TEL) 03-6206-7037
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	320,819	△7.1	6,968	△37.1	8,959	△26.2	5,034	△35.7
2020年3月期第2四半期	345,402	△1.4	11,077	4.9	12,138	1.6	7,829	13.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 7,322百万円(42.6%) 2020年3月期第2四半期 5,135百万円(△43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	16.18	—
2020年3月期第2四半期	25.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	481,703	177,555	33.0
2020年3月期	491,533	172,300	31.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 158,729百万円 2020年3月期 153,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	4.50	8.50
2021年3月期	—	4.00			
2021年3月期(予想)			—	4.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650,000	△5.8	15,000	△34.3	18,500	△28.3	11,500	△22.1	36.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	312,430,277株	2020年3月期	312,430,277株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,290,603株	2020年3月期	1,289,063株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	311,140,751株	2020年3月期2Q	311,145,261株

(注) 当社は、第104期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(期末自己株式数330,500株、期中平均株式数330,500株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、企業収益・雇用環境とも急激に悪化し、個人消費も大きく落ち込みました。5月下旬の緊急事態宣言解除後、経済活動の回復傾向が徐々に見られるものの、依然として感染拡大の懸念があり先行き不透明な状況が続いています。

世界経済（連結対象期間1-6月）につきましても、2月下旬から新型コロナウイルスの影響が徐々に顕在化し、3月には米国や欧州各国で非常事態宣言やロックダウンが実施されたことなどにより、企業収益や個人消費が急激に落ち込みました。4月下旬より規制が一部緩和され、経済活動は段階的に再開されましたが、米国において6月下旬から感染再拡大が見られるなど依然として厳しい状況が続いています。

当社および当社グループにおきましては、外出自粛により家庭内消費が増加したことで、家庭用食品の販売は国内・海外とも堅調に推移しました。一方、外食・観光需要は急減しホテル・レストラン向け水産品・業務用食品の販売が減少、需要減により水産市況が悪化したことに加え、コンビニエンスストア向け商品の売上にも影響しました。また、国内外の養殖事業においても単価下落に加え減産もあり厳しい事業環境となりました。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は3,208億19百万円（前年同期比245億83百万円減）、営業利益は69億68百万円（前年同期比41億9百万円減）、経常利益は89億59百万円（前年同期比31億79百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億34百万円（前年同期比27億94百万円減）となりました。

当社および当社グループは、持続可能な水産資源から世界の人々を健康にすることを目指し、海洋環境への負荷を低減する養殖事業の拡大・技術革新に取り組んでおり、引き続き主要戦略である海外展開の加速、養殖事業の高度化を進め、また、急速に拡大したリモートワークなどライフスタイルの変化に対応した商品を提供してまいります。

新型コロナウイルスへの対応につきましては、「在宅勤務」「WEB会議」などを組合せ「3つの密」にならない働き方を継続するなど感染防止対策を徹底し、お取引先様や従業員の安全確保に努め、食品の生産・供給責任を果たしてまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2021年3月期 第2四半期	320,819	6,968	8,959	5,034
2020年3月期 第2四半期	345,402	11,077	12,138	7,829
前年同期増減	△24,583	△4,109	△3,179	△2,794
前年同期比	92.9%	62.9%	73.8%	64.3%

セグメント別の概況は次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期増減	前年同期比	営業利益	前年同期増減	前年同期比
水産事業	126,651	△14,721	89.6%	1,818	△3,589	33.6%
食品事業	164,629	△8,264	95.2%	6,514	△361	94.7%
ファイン事業	12,232	△1,474	89.2%	977	△209	82.3%
物流事業	8,431	37	100.4%	964	157	119.5%
その他(注)	8,873	△160	98.2%	359	262	371.5%
全社経費	—	—	—%	△3,666	△369	111.2%
合計	320,819	△24,583	92.9%	6,968	△4,109	62.9%

(注) 「その他」：エンジニアリング（工場・設備機器の企画・設計・施工等）事業、船舶運航事業等。

(1) 水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,266億51百万円(前年同期比147億21百万円減)となり、営業利益は18億18百万円(前年同期比35億89百万円減)となりました。

水産事業は国内外とも外食・観光需要が急減しホテル・レストラン向け水産品の販売が減少、需要減による水産市況悪化の影響を大きく受けました。

漁撈事業：前年同期比で減収、減益

【日本】

・いわし・さばの漁獲は堅調に推移しましたが、あじ・かつおの漁獲が低調だったことに加え、魚価も軟調に推移したため減益となりました。

【南米】

・漁獲数量の減少、魚価の下落により減収・減益となりました。

養殖事業：前年同期比で減収、減益

【日本】

・外出自粛により家庭内消費が増加し量販店向けの養殖魚の販売は増加しましたが、価格が下落したうえ、まぐろ養殖において台風による大量斃死が発生したため原価高となり減益となりました。

【南米】

・鮭鱒は販売価格の下落に加え、減産による販売数量減少があり減収・減益となりました。

加工・商事事業：前年同期比で減収、減益

【日本】

・鮭鱒・ぶりの販売価格下落などがあり減収・減益となりました。

【北米】

・すけそうだらのすりみやフィレの歩留まり低下、人件費などのコスト増があり減収・減益となりました。

【欧州】

・ロックダウンにより3月から外食やクルーズ船向けの販売が急激に減少し減収・減益となりました。

(2) 食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は1,646億29百万円(前年同期比82億64百万円減)となり、営業利益は65億14百万円(前年同期比3億61百万円減)となりました。

加工事業：前年同期比で減収、増益

・国内・海外とも家庭用食品(冷凍食品・チルド商品)の販売が堅調に推移したため、苦戦する業務用食品をカバーし増益となりました。

チルド事業：前年同期比で減収、減益

・緊急事態宣言解除以降、回復傾向が徐々に見られるものの、在宅勤務の増加や観光需要減少により人出が大きく減り、コンビニエンスストア向け商品の受注が減少し減収・減益となりました。

(3) ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料(注1)、機能性食品(注2)、および診断薬、検査薬などの生産・販売を行っております。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は122億32百万円(前年同期比14億74百万円減)となり、営業利益は9億77百万円(前年同期比2億9百万円減)となりました。

【医薬原料、機能性原料、機能性食品】

・機能性食品の通信販売は堅調に推移しましたが、医薬原料の販売が減少したことにより減収・増益となりました。

【診断薬、検査薬】

・医薬事業の売却を実施したことに加え、原価率の高い商品の販売構成比が増加したこともあり減収・減益となりました。

(4) 物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は84億31百万円(前年同期比37百万円増)となり、営業利益は9億64百万円(前年同期比1億57百万円増)となりました。

・荷動きが鈍化しているものの、大阪舞洲物流センター2号棟の新規稼働もあり増収・増益となりました。

(注1) サプリメントの原料や乳児用粉ミルク等に添加する素材として使用されるEPA・DHAなど。

(注2) 主に通信販売している特定保健用食品「イマークS」やEPA・DHAなどのサプリメント。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	増減
流動資産	253,115	240,547	△12,568
(うち たな卸資産)	131,053	130,965	△88
固定資産	238,417	241,155	2,737
資産合計	491,533	481,703	△9,830
流動負債	196,895	160,774	△36,120
固定負債	122,337	143,373	21,035
負債合計	319,233	304,148	△15,084
純資産合計	172,300	177,555	5,254

資産

資産合計は前連結会計年度末に比べて98億30百万円減の4,817億3百万円(2.0%減)となりました。

流動資産は125億68百万円減の2,405億47百万円(5.0%減)となりました。コミットメントラインの設定に伴い新型コロナウイルス対策として確保していた現金及び預金を取り崩したことが主な要因です。

固定資産は27億37百万円増の2,411億55百万円(1.1%増)となりました。投資有価証券が株価上昇により39億3百万円増加したことが主な要因です。

負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて150億84百万円減の3,041億48百万円(4.7%減)となりました。

流動負債は361億20百万円減の1,607億74百万円(18.3%減)となりました。低利で安定した長期借入金を調達し短期借入金を返済したことにより、短期借入金が364億37百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は210億35百万円増の1,433億73百万円(17.2%増)となりました。流動負債の減少要因に記載の通り、長期借入金が203億75百万円増加したことが主な要因です。

純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて52億54百万円増加し、1,775億55百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を50億34百万円計上したこと、剰余金の配当を14億2百万円行ったことに加え、固定資産の増加要因に記載の通りその他有価証券評価差額金が40億50百万円増加したこと、円高が進み為替換算調整勘定が17億62百万円減少したことが主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,703	14,694	21,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,665	△9,666	3,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,746	△17,695	△38,441
現金及び現金同等物期末残高	16,514	18,857	2,343

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の合計176億43百万円に加え、たな卸資産をはじめ運転資本による支出が7億62百万円に減少したことから、146億94百万円（前年同期比213億98百万円増）の収入となり前年同期比で大幅に改善しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、オセアニア及び国内の漁船への投資等140億25百万円を行う一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入24億1百万円があり、96億66百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期及び長期借入金の返済154億68百万円および配当金の支払14億42百万円を行ったことから、176億95百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの影響は第3四半期より改善する想定でございましたが、未だ国内外とも感染が収まらず欧州では再びロックダウンになるなど先行き不透明な状況です。

また、医薬品原料ビジネスにおいても新型コロナウイルスの影響で米国FDA（食品医薬品局）による検査が想定より遅れ、医薬品原料販売が減少することから通期の業績予想につきましては、2020年5月20日に公表の予想数値を修正致します。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	670,000	19,000	21,500	15,000	48.21円
今回発表予想（B）	650,000	15,000	18,500	11,500	36.96円
差額（B－A）	△20,000	△4,000	△3,000	△3,500	－
差額率（％）	△3.0%	△21.1%	△14.0%	△23.3%	－
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	690,016	22,834	25,807	14,768	47.47円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,371	13,587
受取手形及び売掛金	79,962	80,162
商品及び製品	68,300	68,462
仕掛品	28,740	27,427
原材料及び貯蔵品	34,012	35,075
その他	15,032	16,137
貸倒引当金	△303	△304
流動資産合計	253,115	240,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,515	62,302
その他（純額）	86,526	85,774
有形固定資産合計	148,042	148,076
無形固定資産		
のれん	669	548
その他	9,690	9,330
無形固定資産合計	10,360	9,878
投資その他の資産		
投資有価証券	65,258	69,162
その他	19,567	18,797
貸倒引当金	△4,810	△4,758
投資その他の資産合計	80,015	83,201
固定資産合計	238,417	241,155
資産合計	491,533	481,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,476	38,453
短期借入金	120,877	84,440
未払法人税等	2,119	2,760
未払費用	23,280	21,810
引当金	3,742	3,299
その他	11,398	10,009
流動負債合計	196,895	160,774
固定負債		
長期借入金	100,361	120,736
引当金	146	138
退職給付に係る負債	12,450	12,192
その他	9,380	10,305
固定負債合計	122,337	143,373
負債合計	319,233	304,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,685	30,685
資本剰余金	21,621	21,646
利益剰余金	96,237	99,756
自己株式	△474	△475
株主資本合計	148,069	151,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,839	12,890
繰延ヘッジ損益	264	△192
為替換算調整勘定	186	△1,576
退職給付に係る調整累計額	△4,208	△4,005
その他の包括利益累計額合計	5,082	7,116
非支配株主持分	19,148	18,825
純資産合計	172,300	177,555
負債純資産合計	491,533	481,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	345,402	320,819
売上原価	278,893	259,932
売上総利益	66,508	60,886
販売費及び一般管理費	55,431	53,918
営業利益	11,077	6,968
営業外収益		
受取利息	126	113
受取配当金	369	339
為替差益	—	32
投資有価証券売却益	—	36
持分法による投資利益	948	1,630
助成金収入	315	448
雑収入	279	184
営業外収益合計	2,039	2,786
営業外費用		
支払利息	791	717
為替差損	110	—
投資有価証券売却損	—	2
雑支出	77	75
営業外費用合計	978	795
経常利益	12,138	8,959
特別利益		
固定資産売却益	193	345
投資有価証券売却益	15	308
関係会社株式売却益	9	—
持分変動利益	11	—
特別利益合計	230	654
特別損失		
固定資産処分損	236	185
投資有価証券売却損	—	3
投資有価証券評価損	128	626
災害による損失	—	774
工場移転損失	103	—
特別損失合計	468	1,589
税金等調整前四半期純利益	11,900	8,023
法人税、住民税及び事業税	3,598	2,734
法人税等調整額	239	24
法人税等合計	3,837	2,759
四半期純利益	8,063	5,264
非支配株主に帰属する四半期純利益	233	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,829	5,034

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	8,063	5,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△286	3,923
繰延ヘッジ損益	11	△131
為替換算調整勘定	△1,963	△1,226
退職給付に係る調整額	△23	202
持分法適用会社に対する持分相当額	△664	△709
その他の包括利益合計	△2,927	2,058
四半期包括利益	5,135	7,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,866	7,068
非支配株主に係る四半期包括利益	268	253

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,900	8,023
減価償却費	9,212	9,619
のれん償却額	148	114
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△102	45
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△329	1
受取利息及び受取配当金	△496	△453
支払利息	791	717
持分法による投資損益 (△は益)	△948	△1,630
固定資産売却益	△193	△345
固定資産処分損	236	185
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	112	320
災害損失	—	774
関係会社株式売却損益 (△は益)	△9	—
持分変動損益 (△は益)	△11	—
工場移転損失	103	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,620	△1,478
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,899	△1,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,960	3,457
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,740	△1,386
その他	△3,715	△330
小計	△3,280	16,279
利息及び配当金の受取額	571	491
利息の支払額	△862	△694
法人税等の支払額	△3,131	△1,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,703	14,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△0	△0
有価証券の増減額 (△は増加)	500	—
有形固定資産の取得による支出	△13,391	△14,025
有形固定資産の売却による収入	324	1,107
無形固定資産の取得による支出	△345	△277
投資有価証券の取得による支出	△373	△26
投資有価証券の売却による収入	43	1,012
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,042	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	2,401
短期貸付金の増減額 (△は増加)	111	△103
その他	510	244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,665	△9,666

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	29,693	△27,878
長期借入れによる収入	3,375	23,547
長期借入金の返済による支出	△10,059	△11,137
リース債務の返済による支出	△333	△377
非支配株主からの払込みによる収入	12	—
配当金の支払額	△1,245	△1,442
非支配株主への配当金の支払額	△312	△177
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△383	△228
自己株式の増減額 (△は増加)	△1	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,746	△17,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	349	△12,810
現金及び現金同等物の期首残高	16,165	31,647
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	20
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,514	18,857

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	141,372	172,893	13,706	8,394	336,367	9,034	345,402	—	345,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,294	1,805	147	4,892	14,139	966	15,106	△15,106	—
計	148,666	174,699	13,853	13,286	350,507	10,001	360,508	△15,106	345,402
セグメント利益	5,407	6,875	1,187	806	14,277	96	14,374	△3,296	11,077

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△3,296百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,322百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	126,651	164,629	12,232	8,431	311,945	8,873	320,819	—	320,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,904	1,095	156	4,789	12,945	939	13,885	△13,885	—
計	133,556	165,724	12,388	13,221	324,891	9,813	334,704	△13,885	320,819
セグメント利益	1,818	6,514	977	964	10,275	359	10,634	△3,666	6,968

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

2. セグメント利益の調整額△3,666百万円には、セグメント間取引消去27百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,693百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。